

# ぼけますから、 よろしくお願ひします。



広島県呉市。そこで生まれ育った『私』（＝信友直子監督）は、ドキュメンタリー番組を制作するテレビディレクター。約40年、東京で暮らしている。結婚もせず仕事ひとすじの娘を、両親は遠くから静かに見守っている。「私」が45歳の時、乳がんが見つかる。母のユーモアたっぷりの愛情で人生の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、カメラを回しているうちに、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めるー。

**無料**

[日時]

2019年

# 11月28日(木)

## 13:15 ~ 15:00

\* 信友直子監督 トーク \*

(12:00~13:00) もあります!

©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」制作・配給委員会

- 定員：50人〔自由席・要予約〕
- 保育：10人（1歳～就学前まで、無料・要予約）

- 申込み：11/1（金）9:00～受付 \*先着順  
電話（0797-86-4006）、窓口  
または、センターHPにて受付。

**宝塚市立男女共同参画センター・エル**

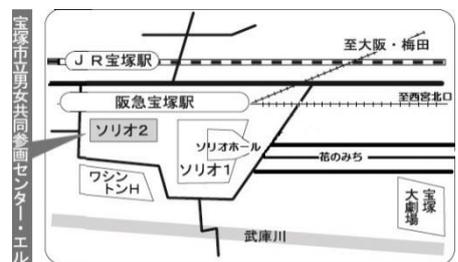
宝塚市指定管理者 NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

<https://www.takarazuka-ell.jp/>

（駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください）



※申込みにあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。



# カメラを向け、初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。  
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」（監督・信友直子）は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナードーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「（介護は）わしができる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

**大反響のテレビドキュメンタリー、  
待望の映画化。**

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。



ひとり娘  
ドキュメンタリー監督  
**信友直子**

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



涙涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。思いやりが人生を豊かにすること。忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。心がキューっと苦しくなったり、ぼっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。こんな優しさに満ちた声の響きを聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

番組にいただいた感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…娘さんの泣きながらの撮影にもらい泣きました。(55歳女性)



ドキュメンタリー映画

## ぼけますから、よろしくお願いします。